

2006 年度

支援事業

北山村「かからの食の店」支援事業

きのくに活性化センターが地域づくり応援事業として、地元の女性たちと協働で開設した「かからの食の店」にたいし、北山村が「地域振興補助事業」として支援した。きのくに活性化センターが補助金の受け皿となり、女性たちのメニューの開発研究費用に活用したほか「食の店」のPR用チラシ作成の製作に充当した。

委託事業

南近畿調査管理 地域整備方向検討調査「紀南西部地区」委託事業

近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所の委託事業。同事務所が平成18年度から田辺市でスタートした事業で、委員会や調査チームを組織し、「地域産業におけるウメ産業の位置づけ」「ウメ産業を取り巻く環境」「地域農業の課題と取り組み方向」「地域における梅加工業の意向」「旧田辺市以外の地域課題と地域づくり」について調査し、報告書にまとめた。

独自事業

経済産業省「工業立地適正化等調査（広域市町村圏産業振興ビジョン調査（田辺市を中心とする複数市町村圏））事業

経済産業省からの委託事業。田辺広域市町村圏が全国7ヵ所のモデル地域に指定されたのを受けて、きのくに活性化センターが受託、「田辺広域市町村圏産業振興ビジョン・アクションプラン—健康と観光を軸にした産業クラスターの形成をめざして—」を策定した。これを受けて、田辺周辺広域市町村圏組合はフォローアップ会議を設置し、協議会の今秋の設立をめざしている。

那智勝浦町「本当に美味しいマグロを食べ歩ける街づくり」事業

「生マグロの水揚げ日本一」を誇るマグロの町・那智勝浦町は、観光客にどのようにみられているのか。マグロの町を発展させていくデータ集めとして、初めて行なったもの。このなかでは観光客600人にアンケート調査をしたほか、マグロに関連する地元業者らの意識も探り、いま何が必要なのかを調査報告書にまとめた。

みなべ町合併記念環境保全林再生事業「みなべ百年の森事業」

開発・産廃処分場等の危険にさらされていたみなべ町三里峰サーキット跡地の再生・保全事業。将来の保全活用計画をまとめるために町が設置した「みなべ百年の森づくり委員会」のコーディネートを担当するとともに、4回にわたるワークショップをとおして住民の思いの把握に努めながら実施計画書を作成した。

上富田町の富田川流域における「ハザードマップ作成」事業

上富田町の委託事業。富田川支流とその流域における洪水を中心に、土砂崩れの危険箇所も加えて「ハザードマップを作成した。調査の過程では、危険地域現地調査を実施するとともに高齢者をはじめ地元住民から体験についてのヒアリングを行ない、また作成にあたっては生きた情報になるように心がけたのが特色である。

「和歌山の美しい風景の保全と再構築」ための基礎調査

和歌山県の委託事業。和歌山大学経済学部教員と調査会社スペース・エフィシェンシーの連携のもとで「全国の美しい風景の調査及び分析」「和歌山県への導入可能性の検討」を行ない、報告書にまとめた。

継続事業

「田辺市観光アクションプラン」の作成

田辺市からの委託事業。「田辺広域観光ビジョン」（国土交通省の委託事業「半島いきいきネットワーク形成事業」平成16年度）を受けて、田辺市がめざす観光の方向や展開を「観光アクションプラン」としてまとめた。地元関係住民らの参画を重視し、ワークショップ等をとおして地域の願いや声を反映させたのが特徴。